

土壌除染装置を開発

海和工業(岡)と名古屋大
あすから福島で実証

東京電力福島第一原発事故で発生した汚染土壌を処理する装置を、海和工業(岡山市南区北浦)と名古屋大が共同開発した。放射性セシウムが粘土に吸着しやすい性質を利用。土壌を水で洗浄して特殊フィルターでろ過し、セシウム濃度の高い粘土だけを分離する。27日から福島県で実証テストを行う。(伊東圭一)



これまでの実験では、粘土を除いた砂や石のセシウム濃度は最大で7分の1に低減。粘土自体の体積は処理前の土砂に比べ、5分の1までに圧縮できたという。

実証テストを前に汚染土壌の処理装置をチェックする椿名誉教授(左)と山田社長

は専門外だが、山田克彦社長(64)と、特殊フィルターを考案した名古屋大の椿淳一郎名誉教授(64)はともに山形県出身で高校の同級生。「自分たちの技術で東北の復興に貢献しよう」と開発を進めてきた。

ろ過し高濃度粘土分離

旧経営陣認める 「私に責任」

東京地裁初公判 前会長

オリンパスの巨額損失隠し事件で、粉飾決算に関わったとして金融商品取引法違反(有価証券報告書の虚偽記載)罪などに問われた前会長菊川剛被告(71)ら旧経営陣3人と、法人としての同社は25日、東京地裁(今崎幸彦裁判長)の初公判でいずれも起訴内容を認めた。

この事件の刑事裁判開始は初めて。ほかの2人は、前常勤監査役山田秀雄(67)、前副社長山田前監査役と森前副社長が大手証券会社OBの助言を受け、金融商品を投資ファンドなどに移す「飛ばし」と呼ばれる手法を導入。菊川前会長も報告を受けて了承していた、とした。

また含み損解消の手段として、国内のベンチャー企業3社や英医療機器メーカーを買収する際、会社のプランド力を反映させる「のれん代」を過大に計上して損失を穴埋めした、と説明した。

検察側は、損失隠しの責任を指摘されている下山敏郎氏と岸本正寿氏の歴代社長2人の供述調書も朗読。岸本氏が「飛ばし」の実行を了承し「このまま自分の乗っている飛行機が落ちればよい、と現実逃避も考えた」と述べていたことを明らかにした。

起訴状によると、菊川前会長ら3人は共謀し、2007～11年の3月期決算で、純資産をそれぞれ416億、1178億円水増しした有価証券報告書を提出したとしている。

昨年10月に社長を解任された英国人マイケル・ウッドフォード氏の告発で問題が発覚。損失隠しの「指南役」とされた大手証券会社OBら4人も逮捕、起訴されている。



森久志被告 山田秀雄被告 菊川剛被告

「第30回備前焼まつり」伝統産業会館およびJR赤松駅で販売するほか、30回記念ツチムの選手が作った備前焼でも実施します。

2010年10月20日(土)、21日(日)午前9時～午後5時半、21日は4時半まで。

主なイベント 岡山シーカズ・ファジアーノ岡山・岡山湯郷ベル選手が作った備前焼のオークション、30周年回顧展、備前焼なんでも相談、福袋の販売、お楽しみ抽選会、ろくろ実演、漫画「ルカの陶」原画展、「野の花と器」展、岡山県子ども備前焼作品展(20日のみ)ろくろ踊り、お夏

死亡男性から
違法薬物成分
神戸・ドリフト事故
神戸市中央区の神戸港で24日、ドリフト走行中の乗用車が海に転落し、男女3人が死亡した事故で、亡くなった

を検討。秋田地裁は極めて危険。量刑判断の重要な要素と認め、殺害行為の一部と評価した。被告は引き金を引いた

た自
の同
の同
が成
の成
の成
た同
警の
転し

第30回備前焼まつり
2010年10月20日(土)、21日(日)午前9時～午後5時半、21日は4時半まで

を
の同
の同
が成
の成
の成
た同
警の
転し